



板状未塗装キット・旧型国電シリーズ

別売アイテム

- 台車 #5024:TR23
- スノーブロー #62
- 排障器 #62-1
- 車両マーク #6301

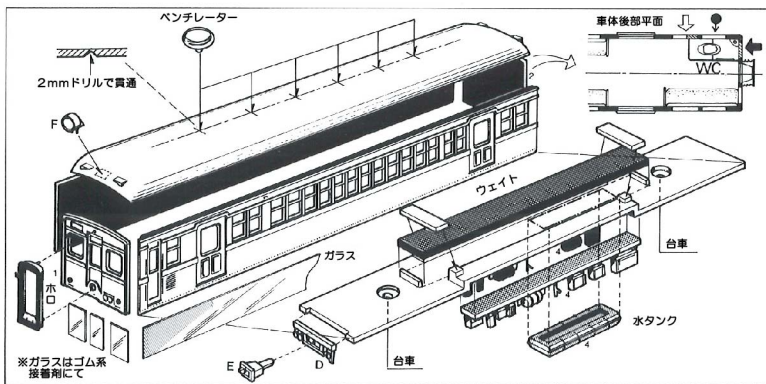
カラーガイド

- ボディ ⑤+⑦/③+⑬ 等※
- Hゴム ④
- 屋根 ⑤
- 屋上機器 ⑨
- 床下 ⑩

※ボディの塗色は「車両ガイド」項もご参照ください。

ドリル刃ガイド

2.0mm: ベンチレーター取付穴
※数字は直径です。



クハ47100形は更新後にはWCつきになっていましたが、本製品では43形と金型を共用している関係で実物と異なる部分があります。正確を期すには図上の平面図に示した黒矢印の要否を完全に埋めてください。また側板の白ヌキ矢印の意も完全に埋めるか、半分くらいの巾まで小さく直し、さらに黒丸矢印の意をスリガラスにすれば完全です。

ボディの組み立て

前後妻板、左右側板、屋根板をすき間の出来ない様注意して組み立て、全体を塗装後に裏から窓ガラスを接着します。床板は上面に鉄板のウェイトを2本のウェイト止め（何も刻印のない平板）で固定し、下面には床下器具ユニットを左右にふり分けて接着します。WC取付車に改造作する場合は図のように床下中心線やや後ろ寄りには水タンクを接着します。その場合、妻面などの処理め加工も施すと実感的です。Dの脚受け、Eのダミーカブラーは構成の先頭になる車両のみに使用し、台車のカブラーポケットは先端部よりカットして当たりを避けます。

屋根上には6箇所のガイド穴を貫通させてベンチレーターを取り付け、ライトFを図示の位置に接着。前面の貫通ホロはすべての組立、塗装が終わった段階で少量のゴム系接着剤で取り付けます。部品A・B・Cは使用しません。

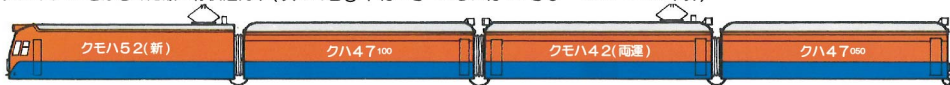
車両ガイド

42系は京阪神間の省電運転に際して登場した20m2扉クロスシート車の総称ですが、戦後ロングシートの2扉制御車もクハ47形に編入されたため、雑多なグループを形成するに至りました。本キットは末期まで原型を保った平妻型の片運車をモデル化したものです。商品タイトルであるクモハ43あるいはクハ47100のほか、ナンバー変更のみで出力増強タイプのクモハ53が製作可能です。

塗色は当初ぶどう色2号（GMカラー②）でしたが、横須賀線への転出にあたってクリーム×ブルーのいわゆる「スカ色（当初のものは色調が異なる）」に模様替えしました。しかし、再度の地方転出でぶどう色に戻ると、飯田線では快速用に抜擢されて専用色（同③+⑦）や湘南色（同③+⑬）を経て、新性能車と同じスカ色（⑤+⑦）に落ち着きました。低屋根改造されて大糸線でスカイブルー（同⑥）を纏ったものや、ぶどう色に黄色の警戒色（②+⑩/小野田）となった両運車などのカラーリングは少数派でした。例によって他系列との編成も多く見られ、3扉車の中に組み込めば模型でもよいアクセントとなることでしょう。【丸囲み数字はGMカラーNo.】

編成例

クハ47100をはさんだ飯田線快速列車（黄かん色③+青2号〜のちに青15号⑦・1957～59年頃）



43, 47形のみで組成された飯田線4連の例（スカ色・1978年）

